

## 2022年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	経営思想論特別研究
担当教員名	藤井 一 弘
科目 の テ マ	<p>「経営思想論」は、言うまでもなく「経営思想」というテーマで研究を行う経営学の一分野である。しかしながら、「経営思想」という言葉から、思い浮かべることのできるイメージは著しく多義的である。ある場合には、経営学を成り立たせている基盤＝方法であったり、現実に経営していくうえで、よすがとなるポリシーであったりもする。</p> <p>そこで、今年度の授業では、現実の経営の道標として重視される、「コーポレート・ガバナンス」の在り方について考えてみたい。この言葉は、ここ20年ほどの間に一般向けの報道でも、しばしば取り上げられるようになり、「企業統治」という訳語は、近年ではむしろ登場しないようになってきた。加えて、ガバナンス (governance) という言葉に「統治」と訳語を充てれば、いかにも物々しい (いかめしい) が、govern の原義は「船の舵を取る」である。そう考えると、方向を誤らないように企業を導く、というのが「企業のガバナンス」に他ならない。</p> <p>「より良い方向に企業を導く」には、という問いをめぐって「コーポレート・ガバナンス論」はあるのだが、この当たり前の問いが、なぜ、難しいのか？</p> <p>現代社会は、むしろガバナンス不全の企業で満ちあふれているとも言えるのではないか。良いガバナンスの条件を考える前に、なぜ、企業の「ガバナンス」は失敗するのか、と問うことから、この特別研究科目を始めたい。</p>
科目 内 容 ・ 方 法 等	<p>履修者各自の研究テーマに合わせて、上記の問題関心の中でも特に関連のある分野を集中的に学習する。</p> <p>加えて、それらの分野における主として英文の海外の最新の研究成果を批判的に読解することを通じて、自らの研究の足場を固めていく、という形をとる。</p>

